

## スマートフォンもホーム・ネットワークの一員に！

酒井 寿紀 (Sakai Toshinori) 酒井 IT ビジネス研究所

### スマートフォンはパソコンとの併用が必要？

スマートフォンがあれば、パソコンがなくても、ウェブの閲覧やメールの送受信ができる。では、スマートフォンは、パソコンの助けを借りなくても十分に使いこなせるのだろうか？

スマートフォンは画面が小さく、キーボードがない。そのため、住所録や電話帳、スケジュール表などのデータを大量に入力するときはパソコンを使いたくなる。

そして、スマートフォンは常時持ち歩くため、パソコンより故障や紛失のおそれが大きく、また、タッチスクリーンのため、操作ミスの可能性も高い。そのため、パソコンなどでのデータのバックアップが不可欠だ。

また、スマートフォンで問題が起きたときはウェブのフォーラムなどの情報を調べる必要があり、複雑な技術情報を読むにはパソコンが欲しい。

そして、文書を作成したり、画像を編集したりするにはパソコンが必要で、パソコンで作成した文書や画像はパソコンのディスクに保管してある。最近は電子書籍や音楽ファイルもパソコンに保管しておくようになった。こうしてパソコンに保管されているファイルの一部をスマートフォンにコピーして、外出先で自分で視聴したり、他人に見せたりしている。

このようにスマートフォンは、単独でも使えないことはないが、十分に使いこ

なすにはパソコンとの併用が必要である。

### 現在の接続方法は？

では、スマートフォンとパソコンを連携させ、ファイルを交換するには、どのような方法があるのだろうか？ サムスンの Android のスマートフォンについて見てみよう。

1つは、USB ケーブルでスマートフォンをパソコンに接続する方法で、スマートフォンのユーザーメモリをパソコンの外部メモリとして扱うことができる。しかし、これにはケーブルの接続作業が必要で面倒だ。

この他に、サムスンのスマートフォンには、同一無線 LAN ルーターに接続されたパソコンとの間でファイルを交換する機能がある。スマートフォンの「Kies air」というソフトを使うと、パソコンのブラウザでスマートフォンのファイルを扱うことができる。

問題は、USB 接続、「Kies air」とも、パソコン側からスマートフォンのファイルを見たり、操作したりすることはできるが、その逆はできないことだ。1つの装置から他の装置のファイルを見るのは比較的安全だが、他の装置のファイルを変更したり削除したりするのは危険を伴う。したがって、装置間でファイルをやり取りするときは、受信側から送信側にファイルを取りに行く方が安全である。

もう1つの問題は、両者ともファイルのアクセス権限を管理してないことだ。ファイルシェアをするときは、それを使

う人ごとに権限に差を設け、またシェアするファイルごとに、閲覧のみ許可、書き換えも許可、などの設定ができるのが普通だ。

前記の USB 接続や「Kies air」では、スマートフォンをパソコンに接続するとパソコン側で何でもできてしまうので、操作ミスやパソコンの誤動作に対してはなほだ無防備である。

### 望まれる SMB での接続

本誌 2010 年 12 月号の本コラムに、Windows や Mac OS のパソコンの間では SMB (Server Message Block) というファイルシェアが広く使われていると記した<sup>(1)</sup>。この SMB では、接続されている各パソコンが対等で、前記のアクセス権限がきちんと管理され、ファイルを提供する側が他の装置からの閲覧を禁じたり、書き換えを禁じたりすることができる。

現在、この SMB を正式にサポートしているスマートフォンはないようだが、SMB をサポートするサードパーティーのソフトは多数出回っている。このことから、スマートフォンについても SMB によるファイルシェアに対するニーズが大きいことが分かる。

ここで問題なのは、SMB をサポートするためには、Android などのスマートフォン用 OS のベースになっている Linux の「root」という管理者用の機能を使う必

要があり、それが OS の提供元から正式には提供されていないことだ。そのため SMB のサードパーティーのソフトは、保証されていない機能を使うことになり、信頼性上の問題を招き、また、将来も使えるという保証がない。

ファイルシェアの機能は OS の基本的な機能なので、OS の提供元がきちんと正式にサポートするべきだ。

2010 年までスマートフォンの最大のメーカーだったノキアは、マイクロソフトのスマートフォン用の OS である Windows Phone を採用し、Android 陣営やアップルの iPhone に対抗しようとしている。この Windows Phone にとっては、先行している他社の OS との差別化が大きい課題だが、パソコン用の Windows との親和性が最も差別化しやすい点で、かつユーザーのニーズも高いと思われる。

従って、Windows Phone も現在は SMB を正式にはサポートしていないようだが、マイクロソフトはこれを正式にサポートする可能性がありそうだ。そうなれば、Android 陣営や iPhone も対抗上 SMB を正式にサポートするようになるのではなかろうか？

- (1) 「ホーム・ネットワークはどうなる？」, OHM, 2010 年 12 月号, オーム社  
(<http://www.toskyworld.com/archive/2010/ar1012ohm.htm>)